2016-3 MHC会報

2015MHC 登山講習「白銀の硫黄岳」から

2016. 3. 13 撮影　　鈴木 雅則

NPO 法人　松本ヒマラヤ友好会

MATSUMOTO　HIMALAYA　FRIENDSHIP　CLUB（略称MHC）

事務所・本部　〒390－0852　松本市大字島立 4539 番地 7

TEL: 0263-47-6197　FAX: 0263-47-5685

E-mail : mhc@lily.ocn.ne.jp　　http://www1.ocn.ne.jp/～mhfc/

2016－3 MHC会報

拝　啓

白銀の北アルプス連峰を望むここ松本平、寒気未だ厳しい毎日が続きますが、花咲く春の到来が待ち遠しい今日この頃、皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

さて、2015 年度 MHC 事業活動も、3 月で終了する事となりました。あらためて会員皆様のご協力に感謝申し上げます。各事業の経過と予定をお知らせ致します。

1、文化交流事業

① 平成 28 年 2 月 4 日(木)～2 月 7 日(日) MHC 山岳スポーツ振興事業－2015MHC 登山講習報告「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展-北アルプス編-」が、会場井上デパート本店 7 階催事場大ホールで開催。報告写真 120 点並びに参加者皆様の作品 50 点が展示され、山岳写真家内田良平さんが審査員となり、特別賞、金賞、銀賞、銅賞、入賞 3、佳作 3 などが表彰されました。

展示会場の大ホール受付

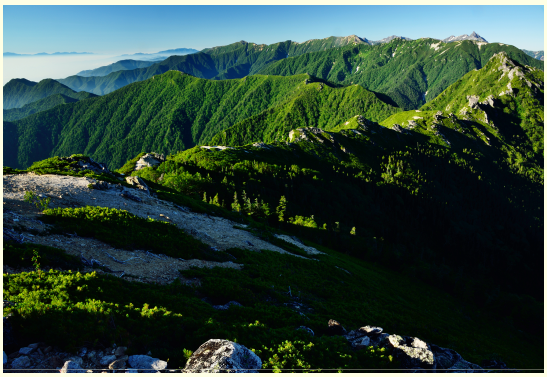
ホールの様子

審査員内田良平さんからの総評

金賞

賑わうジャンダルム　　大村　裕

銀賞　　敬称略



餓鬼岳からの眺望　　林　良一

銅賞

あかね雲と槍ヶ岳　　中村　治幸

内田良平特別賞

ツツジ咲く乗鞍高原　　宮澤　美幸

入賞-1

入賞-2

小松　佑次

入賞-3

表彰式の様子

市民タイムス新聞掲載記事

信濃毎日新聞掲載記事

「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」は、お蔭を持ちまして、平成 28 年 2 月 4 日(木)～2 月 7 日(日)、井上デパート本店 7 階大ホールにて、事業報告写真 120 点、応募作品 50 点が展示。信毎、中日、市民タイムス、、松本平タウン情報、長野日報、読売など新聞紙上にても、写真展が紹介され、期間中、約 700 人を超える大勢の来場者を得て、開催することができました。

写真展会場のチャリティ販売の売り上げは、MHC 国際協力事業基金として積み立てられます。

２、山岳スポーツ振興事業・・別紙報告書参照

①2/13(土)～14(日) スノーシュートで行く上高地、乗鞍高原・・6 名が参加し実施。

②3/12(土)～13(日)白銀の硫黄岳・・6 名が参加し実施。

③2016 年度の MHC 登山講習日程・・調整中　・・希望、アイデアを募集中です。

３、国際協力事業

①ヒラリースクール・クムジュン校内の MHC 寮（現学生 24 名、先生 2 名）の電気代や舎監など運営費、カトマンズの短期大学生への MHC 奨学基金支給（現役 12 名、総人数 85 名）、その事務局運営費、カトマンズ支部運営などの国際交流事業基金は上記交流事業や講習事業からもつくられていきます。

タマン市長代行

MHC ネ支部代表として、タマン・カ行政長官がカバンと文房具を配布する。

②MHC ネパール支部のサンタラム・ポハレル支部長から近況報告です。

Dear Suzuki,
Thank you for your email and continuous support.Hope you are doing well as a head quater of MHC. You might have receieve the email with photos and movie of stationery distributed to school children from CEO of KMC Mr. Tamang , on behalf of MHC Nepal Chapter. So far photo exhibition is concerned, that will be organized by MHC Japan　and KMC Nepal and Co-hosted by MHC Nepal Chapter. As we already discussed, please send email at kmc@mos.com.np

After finalizing the date of photo exhibition, We will correspond to the Matsumoto City Office. For additional information please late me know.
Have a nice time.

Shantaram Pokhrel
President

カバン 140 個

親愛なる鈴木さん

あなたの E メールと継続する支援に感謝しています。MHC 本部が順調に進んでいることを希望しています。カトマンズ市役所の行政最高長官タマン氏が、MHC ネパール支部長の代理として、学校生徒に文房具を配布している写真と動画を、あなたは受信したと思います。松本写真展に関することでは、MHC の本部とカトマンズ市役所により主催し、MHC ネパール支部により共催することについて、私たちは既に打ち合わせをしており、確認のため、カトマンズ市役所にメールを送ってください。
写真展の最終的な日程について、私たちは、松本市役所へ連絡をとり、日程を合わせるつもりです。
新しい情報があれば、私に知らせてください。

MHC ネパール支部・支部長
サンタラム・ポハレル

4、事務局より

①山岳スポーツ振興事業 2015MHC 登山講習報告の「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」は、大成功でした。マスコミはじめ関係各位より高く評価されています。製作展示、会場での案内、表彰式典、後片付け、そして応援してくれた多くの会員の皆様に、あらためて心から、御礼申し上げます。

受賞された方々の喜びの様子。内田良平先生にも感謝申し上げます。

②平成 28 年度　NPO 法人松本ヒマラヤ友好会第 17 回通常総会　開催のお知らせ

定款により、事業年度活動決定の為、会員議決を必要とする年一回の通常総会を開催いたします。

日時：平成 28 年 4 月 16 日（土）　総会　　PM3：00～PM4：45

懇親会　PM5：00～PM6：30

会場：松本商工会議所 3Ｆ301 号室（松本駅徒歩 3 分、）〒390-0815 松本市深志 2-1-17

TEL 0263-32-7374

議事：①平成 27 年度事業報告及び収支決算報告

②平成 28 年度事業計画及び収支予算計画

③その他・山岳保険説明

・新入会員など紹介

・他

懇親会場：松本商工会議所 3Ｆ301 号室　会費 5,000 円

（懇親会出席者飲食代として）

※出欠のハガキ同封してあります。必ず投函してください。

2015 年度は、ネパール震災への義援金支援、MHC ネパール支部による復興活動、皆様のご理解ありがとうございました。これからも熱い信頼に応えるべく、2016 年度も MHC 諸活動を展開してまいります。

会員の皆様は、都合をつけてご出席ください。懇親会にも出席して、親睦を深めてください。

平成 28 年 3 月 14 日

MHC 会員各位

NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会事務局

2015MHC 登山講習　　スノーシューで行く上高地・乗鞍高原

2 月 13 日 AM6:30、天候は曇。松本からは参加者 6 名、一台の車に同乗し、坂巻温泉旅館に向かう。旅館からは、主人の計らいで、新釜トンネルまで送ってもらう。AM9:00 準備をして新釜トンネル入り口を出発。ヘッドランプを照らし暗闇の中に向って坂道を歩き出す。30 分程でトンネルを抜けると、白銀の世界が広がっている。天候は雨模様、雪が解けて舗装がむき出し状態。しかし表面が氷結し滑りやすい為、スノーシューを履き、氷結した道を進む。上空は雨雲が覆い大正池畔にたどり着いても、焼岳、穂高岳を望む事が出来ない。

大正池畔からの雨雲を被った穂高岳

大正池畔を行く

田代湿原と望む霞沢岳

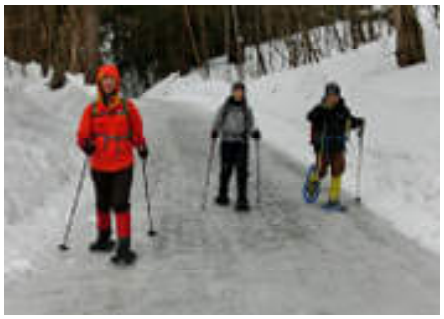
梓川右岸から望むカラマツ林

河童橋袂に到着

河童橋で「バンザーイ！」

田代湿原を経て田代橋を渡り、梓川右岸を歩く。対岸の霞沢岳、六百山の山々も雨雲に隠れている。梓川の雪に埋まる河原をしばらくスノーシューを駆って進むと、PM12:00 河童橋に到する。しかし、上空は厚い雪雲に覆われ、穂高岳は望めず、岳沢の麓を微かに仰ぐのみだった。風を避けてバスターミナルで昼食を摂り、氷結したバス道路を引き返す。PM3:00 釜トンネル出口へ辿り着く。この日、坂巻温泉へ宿泊。暖かい温泉に浸かり豪勢な食事と岩魚の骨酒に酔いしれる。夕食後「氷壁」映画を楽しみ、PM9:00 過ぎ、静かに就寝する。

河童橋袂からの穂高岳と梓川


氷結したバス道路の帰りの様子

乗鞍高原鈴蘭と白樺林

翌 14 日、夜半から雨が本降り状態だ。AM8:30 坂巻温泉を出発して乗鞍高原へ向かう。鈴蘭駐車場から一ノ瀬園地へ向かうが、雨のおかげで舗装が丸出しだ。スノーシューを諦め、車を降りて、白樺林を歩いてみる。仰ぐ小枝上部にヤドリギが風に揺れ、詩的な風情が漂う。番所の「レストランチロル」の日本そばで、早めの昼食を摂り、その後、時間つぶしに番所大滝まで下ると、その爆流の勢いにびっしょりとなる。PM1:00 車に戻り同乗して松本へ向う。PM2:15 松本県合同庁舎駐車場に到着し解散とした。

「白銀の雪原をスノーシューで歩く楽しみと、秘湯の温泉を味わい尽くした登山講習だった。」

MHC 登山講習責任者　MHC 理事長　鈴木雅則

2015MHC 登山講習　　白銀の硫黄岳（2765m）を登る

3 月 12 日 AM7:30 参加者 5 名が 1 台の車に乗り合わせ松本を出発。天候は曇り。中央高速道路を走り、諏訪南インター駐車場で 1 名が合流、総勢 6 名となって、山麓道路を登る。AM9：00 美濃戸口到着。そこから 4 輪駆動車で奥まで進もうとするが、チェーンを装着していないため登れず、途中諦めて道端に止める事となる。登山準備を整え、登山を開始する。雪の林道を歩き、AM10:45 美濃戸山荘到着。

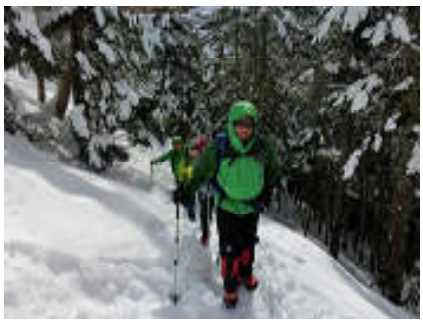
小休止の後、北沢ルートを進み林道終点の砂防ダム手前から小橋を渡り、トレースを頼りに雪道を登る。例年より深雪の森林帯の中、厚い雲が稜線を覆い、展望が効かない。PM1:15 赤岳鉱泉小屋に到着、宿泊手続きをして、遅い昼食を摂る。

美濃戸口から林道を進む

北沢ルートの雪道を登る

滑落停止訓練を行う

昼食後全員アイゼンを装着して行者小屋へのルート脇にある雪斜面に向かう。斜度 30 度程の雪斜面で滑落停止練習を小 1 時間程行い、PM4:15 小屋へ引き返し泊す。夕食は、豪勢な厚切りステーキに舌づつみを打つ。



森林帯の深雪斜面を登る

森林限界から真っ白な雪斜面を登る

稜線から硫黄岳山頂を望む

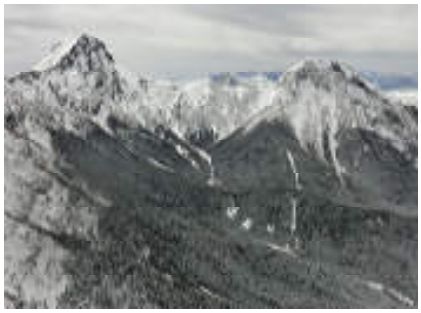
13 日 AM5:30 起床。朝食後雪山装備を整え、AM7:55 小屋を出発。上空は高曇りの天候だが展望は効く。アイゼンを効かし森林帯の深雪斜面をゆっくりと登る。高度を上げると、林間から主稜線の峰々が望まれる。

森林限界からは、30 度を超す真白な雪斜面をジグザグに登り、小さな雪庇を乗り越えると、赤岩の頭と呼ばれる稜線に AM10：00 登り出る。展望が広がり、御岳山、北アルプス、浅間山などの白銀の山々を展望する。

稜線の風は冷たく、ここでヤッケの下に薄セーターを着こみ、雪煙舞う硫黄岳山頂へ向かう。

雪稜線を登る

硫黄岳山頂 2760mに見事登頂



山頂からの赤岳 2899m、阿弥陀岳 2805m

冷風が吹く雪の稜線を、アイゼンを効かし登り続けると、AM10：25 硫黄岳山頂に登頂する。「おめでとう！」頂上に立つケルン脇で、風を避け熱い茶を啜り、登頂の喜びに浸る。山頂からは南に、八ヶ岳主稜の赤岳、阿弥陀岳が迫り、その背後に南アルプスが連なる。私達は、頂上で 15 分程冷風に震えた後、記念撮影をして下山を開始する。

阿弥陀岳 2805mがと赤岩の頭。

冷風の雪稜線を登る

稜線からの雪斜面の下降に注意し、森林帯の雪道を慎重に下山して、AM11:50 赤岳鉱泉に無事帰還する。昼食後、PM1:30 小屋を出発。昨日と同じ北沢ルートを引き返し、美濃戸山荘からは雪の林道を歩き、PM3:30 美濃戸口付近の車停車場所に無事到着する。

諏訪南インター駐車場で 1 名と別れ、5 名は往路と同じ道を走り、PM4:30 松本に無事到着、解散とする。

「勇気を奮って登った、初めての雪山。その感動と喜びを称えたい。また忘れられない登山となった。」

MHC 登山講習責任者　MHC 理事長　鈴木雅則